



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社
 コード番号 8793 URL <http://www.necap.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 重穂
 問合せ先責任者 (役職名)コミュニケーション部長 (氏名)児玉 誠一郎 (TEL)03-5476-5625
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	177,228	2.7	11,553	55.1	11,841	60.3	6,925	64.8
23年3月期第3四半期	172,541	3.3	7,449	4.7	7,385	4.0	4,203	75.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,343百万円(134.8%) 23年3月期第3四半期 3,127百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	321 63	
23年3月期第3四半期	195 20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	767,215	85,331	8.8
23年3月期	821,461	73,188	7.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 67,666百万円 23年3月期 61,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		22 00		22 00	44 00
24年3月期		22 00			
24年3月期(予想)				22 00	44 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	5.4	12,000	31.5	12,000	33.9	6,000	61.3	278 64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- 以外の会計方針の変更 : 無
- 会計上の見積りの変更 : 無
- 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期3Q	21,533,400株	23年3月期	21,533,400株
期末自己株式数	24年3月期3Q	349株	23年3月期	349株
期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期3Q	21,533,051株	23年3月期3Q	21,533,070株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお予想数値に関する事項については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページをご参照ください。
(四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。)

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報	10
(1) 事業の種類別状況	10
(2) 営業資産残高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災被害からの回復・景気持ち直しに向かっているものの、欧州債務問題による高水準な円高や株価の低迷、並びにタイ洪水被害の製造業への影響などから未だ不安定な状況にあります。

当社グループの属するリース業界では、長引く円高による国内設備投資の減速やリース会計基準の見直しに伴う大企業を中心としたリース離れが続いているものの、工作機械・土木建設機械等、一部に復興需要がみられており、大型の設備投資も現れてきたことから、業界全体の平成23年12月累計のリース取扱高は0.9%減の3兆2,987億72百万円となり、前年並みに近づいております。(出典：社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、取組み領域の政策的な絞込みや前年同期に官公庁の大型案件計上などがあったことから、当第3四半期連結累計期間におけるリース契約実行高(割賦除く)は、前年同期比19.0%減の748億82百万円となりました。

また、営業貸付事業においては、契約実行高は前年同期比2.9%減の1,839億72百万円となりました。

売上高はリースを中心とした賃貸事業においては契約実行高の減少により前年を下回っているものの、株式会社リサ・パートナーズ(以下、リサ・パートナーズ)を連結したことから微増となっております。一方、資金原価は改善しており、また継続実施中の与信管理体制の強化により貸倒引当金繰入額については想定以上に減少しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,772億28百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益115億53百万円(同55.1%増)、経常利益118億41百万円(同60.3%増)、四半期純利益69億25百万円(同64.8%増)となりました。

(事業の種類別セグメントの状況)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分表示を「賃貸・割賦事業」「営業貸付事業」「リサ事業」「その他の事業」の4つの事業セグメントに変更しております。なお詳細については、8ページの(4)セグメント情報等をご参照ください。

賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比9.1%減の1,414億35百万円となったものの、貸倒引当金繰入額等の減少により販売費及び一般管理費が減少し、セグメント利益(営業利益)は前年同期比38.8%増の97億86百万円となりました。

営業貸付事業

営業貸付事業の売上高は、前年同期比5.2%減の32億92百万円となったものの、貸倒引当金繰入額等の減少により販売費及び一般管理費が減少し、セグメント利益(営業利益)は19億22百万円となりました。

リサ事業

第1四半期連結会計期間よりリサ・パートナーズの損益を連結しており、これにより売上高は215億1百万円、セグメント利益(営業利益)は5億64百万円となりました。

その他の事業

その他の事業の売上高は、解約売や手数料収入が減少したこと等により、前年同期比18.0%減の111億16百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比64.7%減の4億71百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて542億45百万円減少し、7,672億15百万円となりました。主な要因としては、営業貸付金が134億31百万円、営業投資有価証券が42億14百万円増加したものの、リース債権及びリース投資資産が530億84百万円、販売用不動産が88億49百万円減少したことによります。なお、繰延税金資産は本年4月に実施される法人税率の変更により、6億7百万円減少しております。

負債は、前連結会計年度末に比べて663億89百万円減少し、6,818億84百万円となりました。主な要因としては、短期借入金が32億88百万円増加したものの、コマーシャル・ペーパーが230億円、長期借入金が202億37百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて121億43百万円増加し、853億31百万円となりました。主な要因としては、当第3四半期連結累計期間における69億25百万円の四半期純利益による増加及び少数株主持分の増加額61億16百万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の実績を踏まえて、売上高2,400億円、営業利益120億円、経常利益120億円、当期純利益60億円で修正いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,733	37,244
受取手形	70	5
割賦債権	21,890	17,122
リース債権及びリース投資資産	440,539	387,455
賃貸料等未収入金	19,418	18,693
営業貸付金	162,339	175,771
買取債権	18,114	16,464
営業投資有価証券	13,993	18,207
販売用不動産	40,707	31,857
その他	14,824	14,826
貸倒引当金	15,518	14,722
流動資産合計	762,114	702,927
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	13,645	14,726
賃貸資産処分損引当金	110	50
社用資産	924	884
有形固定資産合計	14,459	15,560
無形固定資産		
賃貸資産	538	735
のれん	9,833	10,033
その他	5,939	6,214
無形固定資産合計	16,311	16,982
投資その他の資産		
投資有価証券	21,452	25,364
その他	12,192	10,429
貸倒引当金	5,068	4,049
投資その他の資産合計	28,576	31,744
固定資産合計	59,347	64,287
資産合計	821,461	767,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,396	506
買掛金	12,058	9,674
短期借入金	25,044	28,333
1年内返済予定の長期借入金	151,316	133,720
1年内償還予定の社債	-	10,000
コマーシャル・ペーパー	133,000	110,000
債権流動化に伴う支払債務	1,460	204
未払法人税等	4,548	3,797
賞与引当金	-	131
災害損失引当金	225	162
その他	24,985	20,717
流動負債合計	354,035	317,250
固定負債		
社債	25,000	15,000
長期借入金	359,120	338,882
債権流動化に伴う長期支払債務	-	705
退職給付引当金	1,329	1,432
その他	8,787	8,614
固定負債合計	394,237	364,634
負債合計	748,273	681,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,648	4,648
利益剰余金	52,955	58,896
自己株式	0	0
株主資本合計	61,379	67,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	281
繰延ヘッジ損益	144	77
為替換算調整勘定	7	13
その他の包括利益累計額合計	190	345
新株予約権	69	-
少数株主持分	11,548	17,665
純資産合計	73,188	85,331
負債純資産合計	821,461	767,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	172,541	177,228
売上原価	152,186	154,917
売上総利益	20,354	22,311
販売費及び一般管理費	12,905	10,757
営業利益	7,449	11,553
営業外収益		
受取利息	41	15
受取配当金	31	33
投資有価証券売却益	27	344
持分法による投資利益	-	31
その他	29	89
営業外収益合計	130	514
営業外費用		
支払利息	89	56
投資有価証券売却損	10	43
持分法による投資損失	2	-
為替差損	43	26
投資事業組合関連費	42	11
賃貸費用	-	44
その他	5	43
営業外費用合計	194	226
経常利益	7,385	11,841
特別利益		
新株予約権戻入益	-	69
特別利益合計	-	69
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	77	-
段階取得に係る差損	114	-
特別損失合計	191	-
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	-	11,911
匿名組合損益分配額	-	20
税金等調整前四半期純利益	7,194	11,890
法人税、住民税及び事業税	3,526	6,135
法人税等調整額	535	1,438
法人税等合計	2,990	4,696
少数株主損益調整前四半期純利益	4,203	7,193
少数株主利益	-	268
四半期純利益	4,203	6,925

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,203	7,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,153	223
繰延ヘッジ損益	84	67
為替換算調整勘定	7	6
その他の包括利益合計	1,076	149
四半期包括利益	3,127	7,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,127	7,080
少数株主に係る四半期包括利益	-	262

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸事業	営業貸付事業	その他の事業	計		
売上高	154,894	3,709	13,937	172,541	-	172,541
セグメント利益 又は損失()	7,406	605	1,726	8,526	1,077	7,449

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 10億77百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 新たに連結の範囲に含まれた連結子会社のみなし取得日を平成22年12月31日としているため、連結子会社の業績は四半期連結損益計算書に含めておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間にリサ・パートナーズの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたため、98億23百万円のものれんが発生しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	営業貸付 事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	141,435	3,292	21,501	11,116	177,345	116	177,228
セグメント利益	9,786	1,922	564	471	12,744	1,191	11,553

(注) 1. セグメント利益の調整額 11億91百万円は、セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。また売上高の調整額 116百万円は、セグメント間取引による相殺額であります。

2. 第1四半期連結会計期間より、割賦販売業務については賃貸・割賦事業に含めております。また金銭の貸付による手数料収入については営業貸付事業に含めております。

3. 各事業区分の主要品目

賃貸・割賦事業・・・情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の賃貸（リース、レンタル）業務、割賦販売業務等

営業貸付事業・・・金銭の貸付、ファクタリング等

リサ事業・・・リサ・パートナーズが行っているプリンシパル投資業務、ファンド業務、インベストメントバンキング業務等

その他の事業・・・物品売買、賃貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、保守料の回収代行業務等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第2四半期連結会計期間にリサ・パートナーズの株式を追加取得したことにより、リサ事業において13億73百万円のものれんが発生しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業基盤の強化・拡充を目的として「中期計画2011」を策定し、これに伴い、報告セグメントの区分表示を「賃貸・割賦事業」「営業貸付事業」「リサ事業」「その他の事業」の4つの事業セグメントに変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分表示により作成した報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益の金額に関する情報は、以下の通りです。

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	営業貸付 事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	155,518	3,473	-	13,549	172,541	-	172,541
セグメント利益	7,048	140	-	1,337	8,526	1,077	7,449

（注）セグメント利益の調整額 10億77百万円は、セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 事業の種類別状況

第1四半期連結会計期間より、事業基盤の強化・拡充を目的として「中期計画2011」を策定し、これに伴い、事業区分の表示を「賃貸・割賦事業」「営業貸付事業」「リサ事業」「その他の事業」の4つの事業区分に変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分表示により作成した事業の種類別状況に関する情報は、以下の通りです。

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

事業区分	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
賃貸・割賦事業	155,518	136,803	18,715	4,109	14,605	7,556	7,048
営業貸付事業	3,473	-	3,473	157	3,315	3,175	140
リサ事業	-	-	-	-	-	-	-
その他の事業	13,549	11,097	2,452	18	2,433	1,095	1,337
調整	-	-	-	-	-	1,077	1,077
合計	172,541	147,900	24,641	4,286	20,354	12,905	7,449

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

事業区分	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
賃貸・割賦事業	141,435	124,335	17,099	3,277	13,822	4,035	9,786
営業貸付事業	3,292	-	3,292	407	2,885	963	1,922
リサ事業	21,501	16,162	5,338	1,159	4,179	3,614	564
その他の事業	11,116	9,658	1,458	16	1,441	969	471
調整	116	1	114	97	16	1,174	1,191
合計	177,228	150,154	27,073	4,762	22,311	10,757	11,553

(注)1. 事業区分は、主たる営業取引の種類により区分しております。

2. 各事業区分の主要品目

賃貸・割賦事業・・・情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の賃貸(リース、レンタル)業務、
割賦販売業務等

営業貸付事業・・・金銭の貸付、ファクタリング等

リサ事業・・・リサ・パートナーズが行っているプリンシパル投資業務、ファンド業務、インベストメントバンキング業務等

その他の事業・・・物品売買、賃貸取引の満了・中途解約に伴う物件売買、保守料の回収代行業務等

(2) 営業資産残高

事業区分	前第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成23年12月31日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
貸貸・割賦事業	472,716	66.8	420,040	61.6	52,676	476,614	65.7
営業貸付事業	152,122	21.5	179,756	26.4	27,634	166,617	22.9
リサ事業	82,596	11.7	81,769	12.0	827	82,596	11.4
合計	707,436	100.0	681,565	100.0	25,870	725,829	100.0

(注) 当第3四半期連結会計期間末におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業投資有価証券が182億7百万円、買取債権が164億64百万円、投資有価証券が141億89百万円、販売用不動産が318億57百万円、営業貸付金が10億50百万円となっております。